

# 『日本人の歯の健康意識』

公益社団法人日本歯科医師会は、15歳～79歳の男女10,000人を対象に実施した歯科医療に関する一般生活者意識調査<2020>の結果を発表しました。

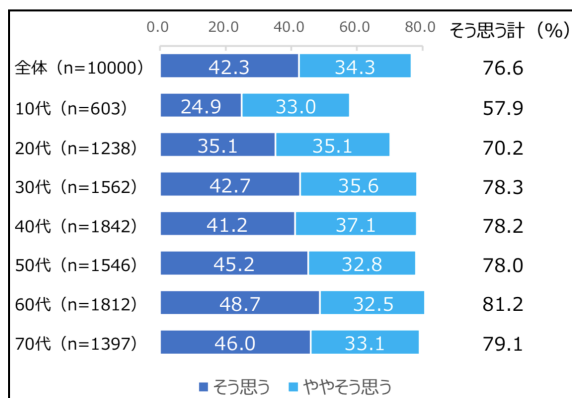
同調査結果により以下のような実態が見えてきました。

- ・先延ばしにしがちな歯科治療 約8割が「もっと早く治療しておけばよかった」
- ・「かかりつけ歯科医」がいるのは全体の約7割
- ・約8割が直近の治療に「満足」。歯科医師への要望は「自分の歯をできるだけ残す」こと

また、コロナ禍で来院を控える方は多く、口腔内疾患の悪化を招くことが予想でき、今後は患者様が安心して来院して頂けるような院内感染予防の徹底および情報発信が重要になってくると考えられます。

- ・先延ばしにしがちな歯科検診・治療 約8割が「もっと早くからしておけばよかった」

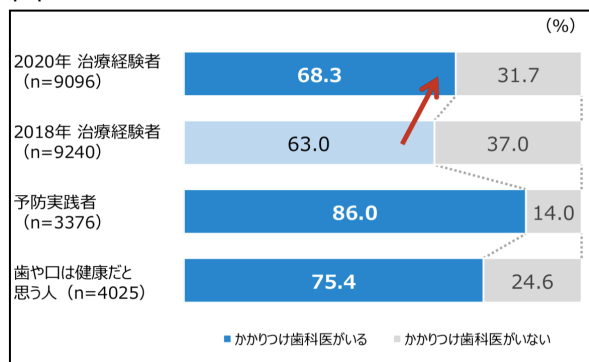
図1 もっと早くから歯の健診・治療をして  
おけばよかったと思うか？



歯科医院での健診・治療について、「もっと早くからしておけばよかったと思うか」との問いに、20代以上の全年齢層で「歯の治療を早期からしておけばよかった」と大半が感じている結果となりました。

- ・「かかりつけ歯科医」がいるのは全体の約7割

図2 かかりつけ歯科医の有無



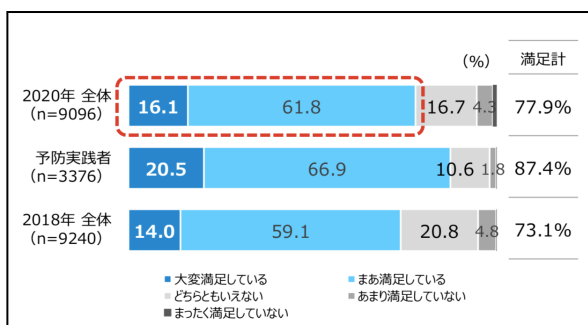
「かかりつけ歯科医」がいるかの調査結果では、68.3%が「いる」と答え、前回調査(2018年)の63.0%に比べ、5.3ポイント上昇し「かかりつけ歯科医」のいる人が増えています。

その中で、口腔意識が高い人や、実際に口腔を健康に維持している人が特に「かかりつけ歯科医」がいる割合が高くなっています。

「かかりつけ歯科医」を選んだ理由については「近所や通勤・通学の途中など、通院に便利な場所にあるから」や「丁寧に診てくれるから」などの声が多く挙がっています。

- ・約8割が直近の治療に「満足」。歯科医師への要望は「自分の歯をできるだけ残す」こと

図3 歯科医師・歯科医院への満足度



これまでに歯科治療を受けたことがある9,096人に、直近でかかった治療に対する「満足度」を聞いてみると、約8割(77.9%)が「満足」と回答しています。前回調査(2018年)では、満足度は73.1%でしたので、約5ポイント上昇しています。

特に、定期チェックを受けている「予防実践者」に満足度が高い傾向にありました。

「満足」と答えた方の意見として「治療が丁寧で上手」、「治療方法をわかりやすく説明してくれたから」などが要因となっています。また歯科医師への要望として「自分の歯をできるだけ残すこと」がもっとも多くなっています。